



宇津木台 森遊会 「定例活動」 第6回 実施報告

No.2011-06

実施日	2011年11月27日(日曜日) 10:00~16:00	天候:曇りのち 晴れ	記録:金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者:13名(男性7、女性6) 秋田、衣川、林、野崎、原田、後藤、諸岡、植村、佐野、中田(直)、中田(美)、鈴木(健)、鈴木(響) インストラクター:金森		

実施内容

初年度全10回活動の第6回目。オリンパス技術開発センター宇津木従業員玄関に10時に集合。初参加の原田・植村・佐野さんのみ9:30集合で30分間持ち物などのオリエンテーションを行う。

暖くなる予報は外れ少し肌寒いが、リース作りは会議室ではなくセンターの芝生地で行う。グルーガン用の100V電源は車のバッテリーから変換器を通して調達する。用意しておいた大量の蔓はほぼなくなった。リース作りはさほど難しくないことを実感できた。オリジナルの作品を持って記念撮影。

昼食は前回に続きドラム缶を半分に切った囲いで焚火をして秋刀魚を焼く、焚火はフィールドを傷めないように石の土台を敷き、熱が伝わらないようにする。塩焼き秋刀魚の皿は緑地内の竹林から間伐した竹を割って、使用後は焼却した。さらに細めの竹で節を抜いた水筒を作りお茶や水を直火で温めた、ほのかに竹の香りがしみ込んだものを味わえた。(いわゆる竹を使ったカップ酒の筒を作った)

珈琲豆の直火焙煎をやってみるも豆炭の火力が弱く時間がかかったためガスコンロで仕上げた、焙煎度が非常に濃いものと普通のを飲み比べてみる、好き好きだが、料理に合わせると良いだろう。

昼食後、緑地内を一周して来年度の間伐に向け、蔓を伐ってゆく、定期的には蔓伐りはされていたようで太いものは無かった。来年度の間伐は蔓の問題はなさそうだが、今年の台風で折れたものや枯れて今にも倒れそうな大木が多く、健康な木はほとんどない状況が共有化できた。



予め準備したリースの素材



黙々とリースを編む



グルーガンで飾ってゆく



個性豊かなリースが完成



1.5時間で無事終了



お昼ごはんは秋刀魚を焼く



珈琲焙煎は火力が弱くひと苦労



緑地を回って蔓を伐る

連絡事項

- ・怪我、ヒヤリハットはなし。
- ・緑地のゴミを入れたボランティア袋は、大1を宇津木台行きバス通りに面した入口に置く。
- ・次回は、12月23日、竹林の整備と間伐した竹を使ってのミニ門松作りを予定する。